

文部科学大臣
林 芳正 殿

薬学科設置に関する要望について

米軍施設「西普天間住宅地区」返還跡地に検討されている沖縄健康医療拠点構想の中で「高度医療・研究機能の拡充」、「地域医療水準の向上」、「国際研究交流・医療人材育成」の3つの柱が掲げられています。その具体的な取り組み案の中には、産業利用や感染症対策に関する創薬の研究や開発等が記されており、また、同地区への琉球大学医学部及び同附属病院移転整備基本計画（概要）の先端医学研究センターの基本計画には「沖縄の天然資源利用による創薬研究」があり、6つの研究部門にも「創薬部門」について記されています。これらの目的を達成するには薬学部門を専門とする研究体制が欠かせません。また、国がすすめる地域医療水準の向上を果たすための医療チームの中の薬剤師や地域包括ケアシステムの一翼を担う多職種連携の構成職種である薬剤師の確保にも配慮が必要です。しかし、離島県である本県の人口10万人あたりの薬剤師数は全国最低であり、本島北部地域や離島においてはさらに輪をかけて少ない状態にあります。

沖縄を中心とした日米、アジアを含め海外でも活動できる医療の担い手として質の高い薬剤師を養成しつつ、地域医療水準を向上させるために、下記のとおり琉球大学医学部への薬学科の設置を強く要望致します。

尚、これまでに関係各所への要望を行っており、沖縄県、沖縄選出の国会議員からの賛同を得ておりますことを申し添えます。

記

- 1 琉球大学医学部に薬学科を設置する。
今後の薬学教育において、臨床薬学、創薬学教育では医学部との連携が必須である。
- 2 新薬の研究開発において、沖縄科学技術大学院大学並びに新薬開発製薬会社との連携により創薬研究者の養成に繋げる。
- 3 学生定員は、国立大学としての質を高める上で適当な定員とする。また、地域医療水準の向上のため、入学定員中 10 名程度の地元枠が必要である。

平成 29 年 9 月 25 日
一般社団法人沖縄県薬剤師会
沖縄県薬剤師連盟
会 長 亀谷 浩晶

